

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「外国人入込客数」について、目標を達成している。 ■ 「観光入込客数」、「経済効果」及び「山寺における観光入込客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、測定ができていない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産の協力団体数」及び「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として目標を達成していない。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産への協力者数や協議会自主事業による収入が一定程度存在し、かつ協議会の定期的な会議開催が実施される等、日本遺産の取組を推進するための組織の土台が整備されている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産に誇りや愛着を感じる人の割合や日本遺産の認知度一定数あり、かつ自治体の長期計画への位置づけやマーケティング調査を実施する等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサーや日本遺産への協力者、研修会等の開催が一定数存在する等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の満足度や平均宿泊者数が増加傾向にあり、かつ多言語による構成文化財の案内板・解説板や拠点施設の整備等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 山寺の観光客数や県内の消費単価が一定程度あり、かつ日本遺産関連の旅行商品造成やパンフレットおよびポスターの作成等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 県内外の日本遺産の認知度や民間主導のイベントの回数が一定程度あり、かつ構成文化財等における企画展や教育機関と連携した体験事業を実施する等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 協議会ホームページのPV数やSNSのフォロワー数が一定数あり、かつ日本遺産に関するウェブサイトやプロモーション動画の制作、SNSでの情報発信の実施等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光振興、普及開発、基盤強化の三つにわけて、地域活性化に向けた過去の成果と課題が明瞭に分析され、それらに基づいた基本的取組が具体的に提示されている点は評価できる。 ■ 「体験型山寺と紅花ミュージアムの実現」という共通テーマを実事業として具現化するために、実現性のある事業計画設定と重点的に取り組む施策を決定することが望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 紅花交易により発展した蔵文化の展開、県外の日本遺産との連携商品づくりなど、文化資源の新たな活用方策なども示されている点は評価できる。 ■ 協議会内の各人（組織）の位置づけが不明確なため、事業実施を効果的に進められる体制の構築を行うことに加え、財源・人員を確保することが望ましい。 ■ 県が全体を管理するだけでなく、関係市町の自発的・積極的な活動に繋げることが重要であり、山寺だけでなく各市町の取組みを総合的に活かし連携させる取組とすることが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現状把握と課題が分析され、意欲ある取組が計画されていることは評価できる。 ■ 実行性を高めるための重点的取組の決定や財源確保を行うと共に、各取組の実践・成果を他事業に広める等、総合的な取組にするための工夫を行うことが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成していない。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を活用した取組は多く行われているものの、それぞれの団体、組織、企業によって個別に実施されており、組織間の調整や全体の取りまとめを実施する機能の強化が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナの影響により市民講座などの取組が十分実施できず、指標である「日本遺産の認知度」は、48.6%に留まったものの、日本遺産を活用した地域活性化の戦略の一環として、各商業施設への来訪者数の集計を通じた経済波及効果の測定といった取組は実施できている。 ■ グリーンスローモビリティなどを活用した消費額増加の成果も見られており、収益を上げる取組として一定程度の成果は上げられている。
(3) 人材育成	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ガイド登録数および稼働数ともに増加傾向であり、ガイド育成は進んでいるが、ガイド以外の人材育成の取組の強化が望まれる。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業施設や駅への日本遺産PR用のポスター掲示、および駅周辺や中心市街地、大谷地域への構成文化財マップ・解説板の設置などの取組が実施されている。 ■ 情報発信の拠点として「大谷コネクト」が開業され、イベントなどに活用されている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ワンデイパスポートや一日乗車券など、モビリティを活用した周遊促進の取組が行われており、また構成文化財における展示会の実施など、日本遺産を活用した事業化も進んでいる。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小中学校授業での「宇都宮学」の実施や、宇都宮大学での講義など、教育・学習の機会を通じた普及啓発活動ができており、市民講座においても、受講者から高い評価を得られている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構成文化財のみでなく、カフェやイベント情報など、大谷地域全体の情報発信の取組が行われており、また第3次観光振興プランにおける基本戦略のターゲットとして、「首都圏在住者」および「若年層」を重要項目として定め、プロモーション事業に取組んでいる。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域固有の資源を活用したこれまでの取組はよくできており、また地域活性化計画にて実施する取組内容も理解はできるが、現状分析と課題抽出を十分に実施したうえで、取組の柱やその効果検証方法を設定することが望ましい。 ■ 現行のビジョンは広く市民からの理解は得られると思うが、さらなる検討や具体化がなされることが望ましい。収益を上げ、地域への再投資によって持続可能な地域づくりにつなげる方法を熟考し、具体的な取組を検討することが望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史資源保存活用のための計画策定や周遊性向上のための整備事業、地元事業者や法人を巻き込んだ産業化計画など、しっかりとした計画になっている。 ■ 各取組を地域活性化につなげる上での責任部署を明確にし、自走・好循環への道筋をより具体的に描くことが望ましい。また責任部署は、取組の効果を定量・定性で評価し、効果が出ていない項目を管理することが望まれる。 ■ 日本遺産の取組の自立自走は、協議会が収入を得てその収入で運営するという意味ではなく、地域全体が潤うという意味での自立自走のこのため、グッズの収入などに限定せず、地域全体で経済が回るという意味での自立自走目標を掲げることが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産としてさらに活用できる取組を検討すべきで、大谷石が全国の様々なものに使用されるようになれば、全国からの集客につながり、そのような地域の実態を小中学生の授業に取り入れることでシビックプライドが醸成される。このように、より具体的に好循環につながる取組を描くことが望ましい。 ■ オーバーツーリズムの問題も増えてきているため、平日へのシフトや高付加価値化なども取組に入れ、トライアンドエラーを繰り返しながら事業を進めること、またインバウンド誘客に関する取組を具体的に描くことが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産への協力団体数や日本遺産に関連するふるさと納税が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産の認知度が一定程度あるほか、行政計画・構想への日本遺産の位置づけや、戦略立案に向けた潜在力調査の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域プロデューサーや地域プレーヤーが一定数存在し、人材育成に係る土台が整備されており、郷土愛とシビックプライドを育む人材育成や日本遺産ガイドリストの作成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ストーリーを体感するための拠点施設の整備や案内看板・誘導看板の設置など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光入込客数を一定程度確保したほか、構成文化財等を巡るツアーの実施、ストーリーの特徴を表したオリジナルグッズの作成や販売等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出前講座、講演会、小学校社会科教育副読本への掲載、企画展等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産のウェブサイトやメディアを活用した情報発信、パンフレット等の制作など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体としてバランスよく活動しており、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光地としてポテンシャルの高い那須塩原において、今後どのような地域を目指し、那須塩原らしさを伝えていくために構成文化財をどのように繋げていくのかについて更なる検討を行っていくことが望ましい。 ■ 地域ビジョンの実現に向けて、地域プレーヤーの人材育成や観光事業化など、取組内容と事業内容のさらなる具体化が望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ シリアル型としての自立自走に向けて、自治体間の連携強化や民間事業者の参画促進といった組織体制のさらなる整備が望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高原リゾートというブランド力を活かし、日本遺産ストーリーとの相乗効果の創出につながる具体的な取組がなされることが望ましい。 ■ エリアが広範囲に及ぶため、エリア間で連携し、民間事業者を巻き込んだ収益性向上のための戦略立案や自立自走に向けた財源確保に向けて、さらなる検討と取組が望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客数」及び「経済効果」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」及び「日本遺産のためのふるさと納税額」について、目標を達成している。 ■ 「日本遺産のための寄付額」について、目標を達成していない。
(4) その他	可	■ 「一般社団法人「井波日本遺産推進機構」（仮称）の設立による雇用創出」について、目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 民間主体で日本遺産事業を推進する新たな組織の立ち上げや協議会の自主財源を確保する取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 観光動向調査の実施や文化財保存活用地域計画をはじめとする自治体の長期計画への位置づけ等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサーや地域プレーヤーが一定数存在し、「ジソウラボ」等の民間主導による人材育成、世代間の交流促進や移住者と地域出身者の繋がり強化等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ストーリーを体感するための拠点施設の整備や案内看板・誘導看板の設置や構成文化財の改修等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 地域独自の観光資源を活用しながら日本遺産ストーリーの体験に繋がる高付加価値商品の開発・販売等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと学習を受講した児童の数や、民間主導のイベントの数が一定程度あり、学校での郷土学習の実施や地元住民に対する普及啓発を行う等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> SNSの投稿数やフォロワー数が一定程度あり、AIチャットボットを活用した訪問者への情報提供を行う等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として官民連携による幅広い取組が行われており、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の課題を分析し、井波の町を核とした南砺市全域における取り組むべき事業の方向性や具体的かつ意欲的な取組内容が示されている。文化財保存活用地域計画等にも位置づけられている点も評価できる。 ■ 井波別院 瑞泉寺と井波彫刻という歴史・伝統を日本遺産の取組を通じて、地域活性化に繋がられている。野外美術館やナイトミュージアムなどのアイディアや取組なども含め、多角的な取組を展開していることも評価できる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「ジソウラボ」、「イドウラボ」、「アキヤラボ」など民間事業者を中核とした事業計画が優れている。民間主導かつ若者層のワーキンググループ等が連携した協議会の運営も評価できる。外国人観光客の受け入れ強化も視野に、地域人材育成や多種多様な手段での広報のさらなる強化が今後期待される。 ■ 自立自走を意識した体制整備が行われており、将来性が見込まれる。情報発信や人材育成を精力的に進め、すそ野を広げつつ体制強化の姿勢が評価できる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 空き家を活用した高付加価値宿泊施設の開発等、日本遺産を契機とした地域活性化に意欲的に取り組んでおり、他地域のモデルとなりうる点が評価できる。 ■ 知名度・集客力が高い周辺地域との連携や、井波における夜の街の賑わい創出・滞在性の向上に向けた取組の強化が今後望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>重点支援地域に認定</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込数」について、目標を達成できている。 ■ 「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「峡東地域のサポーター会員数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ (一社) ワインツーリズムによる民間主導での日本遺産事業推進体制の構築など、組織整備に係る基礎的な取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治体の長期計画への位置づけやマーケティング分析の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域プロデューサーが協議会事務局に加入したほか、峡東ワインリゾートコンシェルジュ研修や峡東ワインリゾート魅力発見講座の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多言語による構成文化財の解説看板の整備、構成文化財等への道標の整備、ワインの樽を再利用したベンチの設置など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光客の入込数が一定数あるほか、構成文化財を会場とした高付加価値な観光コンテンツの造成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育現場における日本遺産に関する授業の実施、日本遺産の特別展示や民間事業者による普及啓発イベントの開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産ストーリーを伝える多言語ホームページの整備、SNSを活用した情報発信やマスコミの取材への協力など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の目指す将来像（ビジョン）のさらなる明確化が望まれる。 ■ これまでの事業分析や課題抽出を踏まえた日本遺産としての取組の具体化が望まれる。 ■ 外国人観光客の回復に向けた具体的な方策検討が望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間事業者による主導體制へ移行し、DMOの設立を計画しているが、自立自走に向けて財源確保に係る取組を強化することが望ましい。 ■ 構成自治体間のさらなる連携強化が望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域DMO等の民間事業者の自走化に向けて、自治体等の支援や体制づくりの強化が望まれる。 ■ もうひとつの日本遺産「日本ワイン140年史」との棲み分けについて再整理することが望ましい。 ■ 自立自走を見据えた組織整備や観光事業化等の取組が示されているが、宿泊施設や交通インフラなど、観光客の滞在ニーズを踏まえた滞在環境のさらなる整備が望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力者数」について、概ね目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 縄文応援隊の参加人数、協議会の参加団体の負担金が一定程度あることなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロゴマーク使用数や展覧会等のエリア独自のPR事業数といった評価指標と戦略立案の関係性が不明である。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ イベントや地域振興の実施者数、域内のガイド人数やガイド養成講座の開催数が一定数存在する等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 評価指標とそれに基づく具体的な指標の関係性が不明であり、また、説明板・案内看板の設置数や構成文化財の整備実施数等の目標と整備状況の関係性が不明瞭である。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光客入込数や旅行観光商品の開発数が一定程度あり、かつ民間事業者によって日本遺産関連のコンテンツ造成やエリア内の周遊イベントが開催される等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産の説明を受けた小中学生数が一定数存在し、日本遺産に関連した展示会の開催、幅広い年齢層に向けたイベントや講座の開催される等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多言語を含む日本遺産に関するホームページや動画の制作や、SNSを活用した情報発信など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産ストーリーを伝えるための解説整備などの取組が評価できる。 ■ 日本遺産を地域活性化にどう活用していくのかの具体的な戦略、取組を記載し、独自性かつ具体性のあるビジョンを描くことが望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来的な自立自走に向けた意識をもっていること、協議会の体制強化のために民間事業者との連携を進める予定であること、そしてワーキンググループを設置することでスピード感を高める工夫などは評価できる。 ■ 地域に適したターゲット設定を行うと共に、全体の方向性を主導する担当者会議・事務局の機能を明確にして将来的な自立自走の道筋を作ることおよび、民間事業者の巻き込み等の体制整備を実施することが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を通じた地域の活性化に向けて必要な取組が計画に記載されており、組織体制の整備についても一定程度評価できる。 ■ 顧客目線による事業計画の磨き上げおよび、日本遺産の活用によるシリアル型地域全体の地域活性化に向けた具体的な計画設計が必要。加えて日本遺産の取組がシビックプライドの醸成に寄与する道筋を検討することが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」及び「路線バス利用者数」について、目標を達成している。 ■ 「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化財に誇りを感じる住民の割合」について、未調査の項目が多く、目標を達成しているとは言えない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産のための寄付額」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協議会への行政以外の参加団体数や構成文化財整備の寄付額が一定程度あることなど、日本遺産の取組を推進するための組織の土台が整備されている。協議会の定期的な会議の実施や、関係市町開催の委員会へ参加し情報共有を図るなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る基礎的な取組が行われている。
(2) 戦略立案	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を活用してどのように地域活性化（経済効果）を実現しようとしているかの戦略が見えず、また、記載されている数値と戦略立案との関係性が不明確である。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産プロデューサーや地域プレイヤー数、ワークショップの開催数が一定数存在し、人材育成に係る土台が整備されている。また、ガイド養成講座やインバウンド対応研修の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る基礎的な取組が行われている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構成文化財に関する施設の来訪者数や関係市町の宿泊客数が一定数あり、ストーリーを体験する環境の土台が整備されている。また、構成文化財の解説看板・案内看板の設置、ガイドンス施設の整備など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る基礎的な取組が行われている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光客入込数や宿泊客数が一定程度あり、観光事業化に係る土台が整備されている。フォーリングプレスセンターと連携したファムトリップや観光庁事業を活用したモニターツアーを実施したことにより、宿泊を伴う団体旅行客の継続的な送客につながるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る基礎的な取組が行われている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産に関連した展示会や児童・生徒向けの体験講座の開催など、基礎的な取組はできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産のホームページのPV数やSNSのフォロワー数が一定程度あることなど、情報発信に係る土台が整備されている。海外メディアでの情報発信や、プロモーション素材を取りまとめたガイドブックの編集など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る基礎的な取組が行われている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施ができている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジョンが描かれており、取組内容も一定程度評価できる。 ■ 個々のスポットの来訪者は増加しているが、日本遺産としての「箱根八里」そのものの認知度は高くない課題をどのように克服していくのか、具体策につなげていくことが望ましい。 ■ 取組は課題を踏まえたものとなり効果が期待できるが、かなり端的な記載にとどまっており具体的でないため、実現に向けた具体策の検討が望ましい。 ■ インバウンドを強く意識したビジョンがたてられており、ガイド育成についてはインバウンドを含めたものであり期待できる。ただその他の取組をみると、インバウンド対応は必ずしも十分ではないように感じるため、インバウンド対応のさらなる強化が望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ これまでは2市2町の行政色が強すぎたきらいがあること反省にたつて、民間主体への転換やワーキンググループを設立すると計画されているため期待できる。 ■ 協議会下部組織など、充実した体制で取り組んでいることがわかる。また金融機関なども巻き込んだ自立自走への工夫が十分なされており、体制について評価できる。 ■ 民間主体に切り替える方向性が示されているが、その具体的な道筋は不透明であるため具体的な計画を検討することが望ましい。 ■ 共通テーマの街道としての一体的な事業ができるかがポイントとなるため、シリアル型である構成地域との事業連携を強化することが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 江戸の街道旅文化が体感できる希有な地域なので、いままで以上に各自治体と民間諸団体がうまく連携してストーリーを体現することが望ましい。 ■ 課題を踏まえて目的意識を持った取組がなされる計画となり、日本遺産としての充実が図られると思われる。一方、取組について具体的な記載が十分ではないため具体策の検討が望ましい。 ■ インバウンドを意識するビジョンは、本遺産のストーリーから導かれたものであり、評価できる。それを実現する組織体制・戦略を構築することが望ましい。 ■ 街道文化の更なる掘り起こしと磨き上げ、経済効果を意識したマネタイズ（安定的財源の確保）を目指すことが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」について、目標を達成している。 ■ 「外国人観光客数」及び「満足度」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産のためのふるさと納税額」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人サポーター数や日本遺産を活用したまちづくりに関する事業を用途としたふるさと納税額が一定程度あることや、協議会や専門部会の定期的な会議の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ターゲット選定に係る嗜好性調査、地域コンセプトの浸透度の測定や、民間事業者との包括連携協定の締結など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域プロデューサーの確保、ガイド養成講座の実施や稲むらの火の館応援大使の任命など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ストーリーや構成文化財を説明する拠点施設の整備や多言語による構成文化財の解説看板・案内看板の設置など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物産販売・飲食施設の整備、民間事業者と連携した宿泊施設の整備や民間事業者による旅行商品の造成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ シンポジウムや文化展の実施、学校教育における地域学習の取組など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産のウェブサイトやパンフレット等の制作、SNSを活用した情報発信など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を活用して実現したいビジョンをより具体的に記載することが望ましい。 ■ 震災後の復興後計画の中に、農業や漁業をはじめとした地域の産業との関わりを明確化するとともに、津波の歴史や津波との戦いなどを実感できるような、観光等メニューの充実によるさらなる地域経済効果の拡充が望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間事業者、構成文化財所有者や大学等との連携体制を一定程度構築できているが、各種事業の実効性を担保するために組織体制の更なる強化が望まれる。 ■ 個々の事業に関する予算が適切に計上されているが、自立自走に向けて財政基盤のさらなる充実を図ることが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防災教育などにおいて地域の資源を最大限に活かしているが、経済効果の創出に向けた取組のさらなる強化が望まれる。 ■ 百世の安堵というテーマは世界的な課題であることから、外国人訪問客への訴求を今後強化することが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	不可	■ 「日本遺産ガイドの活動者数」について、目標を達成していない。
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 行政組織以外の参画団体数やふるさと納税額が一定程度あるほか、シリアル型の認定自治体間での密な連携がなされているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 認定自治体の各計画への位置づけられるほか、国内外のマーケティング調査や専門家の視察の結果等を基に方針・施策の検討がなされているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサー・地域プレーヤーが一定存在し、ガイド養成講座等による人材育成を推進するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> 各構成文化財における日本遺産に関する案内板設置やインバウンド向けの多言語対応が十分ではない。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 観光客入込客数や周遊企画への参加者数が一定存在するほか、地域の民間事業者等と連携した商品が販売されるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 地元住民を対象とした講座や日本遺産検定等のほか、小学生向けの学習まんが本の制作・配布や地域学習・校外学習の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 協議会HPのアクセス数やSNSの投稿数が一定程度あり、SNS・パンフレット・日本遺産HPサイト・海外サイト等を通じた情報発信を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として基礎的な取組が行われており、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジョンが明確であり、地域課題を的確に捉えている。 ■ 具体的な事業内容は何で、どのように日本遺産のストーリー・構成文化財の価値を伝え、どう地域活性化に繋げていくかといった点について、より深化させることが望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治体主導であり民間事業者の巻き込みは不十分であるが、事業の実施を行うにあたっての財源・体制は一定程度確保されている。 ■ 自立自走・好循環をどのように生み出していくのかといった点について、民間事業者との連携の在り方も含めて、より深化させることが望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本的な方向性・取組は明確で、地域課題を的確に捉えられているが、自立自走を見据えた今後の展開・深化については更なる検討が望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。 ■ 「宿泊者数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、2023年度の調査を実施していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産への協力団体数」「鞆のまちづくり基金の寄付額」及び「ガイド育成講座修了者の活動者数」について、目標を達成していない。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元住民と観光事業者が一体となる新協議会の設立、鞆のまちづくり基金の活用、近隣日本遺産地域との連携を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産の認知度が一定程度あるほか、行政計画における日本遺産の位置づけ、旧国民宿舎跡地の利活用に関する基本構想を策定するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産ガイドの養成やガイドによるワークショップを開催するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 福山市鞆町並み保存拠点施設の整備、多言語案内板の設置や、構成文化財における日本遺産サインの設置など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構成文化財を活用した商品開発やグリーンスローモビリティの活用など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産認定記念シンポジウムの開催、市内学校や地域団体と連携した出前講座の実施、鞆の浦学園と連携した学習カリキュラムの実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産ポータルサイトの閲覧数が一定程度あり、鞆の浦潜在力・嗜好性調査結果を活用した多言語での映像制作や、多様なチャンネルを活用した情報発信を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上位計画・関連計画に照らしてビジョンが作られ、現状分析・課題抽出のもとで取組が計画されている点が評価できる。 ■ 新協議会体制への移行に伴い、鞆の浦ならではのビジョンをさらに明確化することが望ましい。 ■ 拠点施設の利用や二次交通への課題への取組等がみられるが、整備以外の取組強化が望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間事業者や地元関係者が参画しており、一定程度の組織整備ができています。 ■ 今後は人材育成サイクルの確立に向けて取組方策のさらなる具体化が望まれる。 ■ 財源確保をはじめ、自走自立に向けた取組をさらに強化することが望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域住民を巻き込みながら、まちづくりを核とした事業が計画されている。 ■ 現状の課題分析を踏まえて対応策のさらなる具体化を図り、計画の実効性を高めることが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」について、目標を達成していない。 ■ 「外国人観光客数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」及び、「日本遺産・鬼会面を公開活用する寺院」について、目標を達成している。 ■ 「小中学生における日本遺産の認知度」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産への寄附額」及び、「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。 ■ 「日本遺産への協力者数」について、目標を達成していない。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産連絡会議の定期的な開催や、プロジェクトチームによる事業推進等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域内での商品開発や戦略立案に係る各種調査事業が行われる等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ガイドやコーディネーター人材の育成等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産の看板の設置、構成文化財などをモチーフにしたエンブレムの作成及び同デザインの看板の設置等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を体験できるロングトレイルやリトリートツーリズムのコンテンツ化等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出前講座の参加人数や、市民の日本遺産の認知度が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ウェブサイトのページビュー数は高い水準であり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 過去6年間の綿密な評価が行われ、それに基づく新たなビジョンが設定されている。観光事業分野と普及啓発分野の強化の方向性と、そのための体制づくりが進められている点が評価できる。 ■ 現状は行政主体の段階のため、地域の自立自走にむけ、計画的に民間事業者の育成や一部機能のアウトソーシングを行うことが望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7つの評価項目ごとに、その達成度を自己評価しながら次の戦略・事業を構想する手法が評価できる。 ■ 庁内連携、ワーキンググループ、地域内での組織の細分化、地域プロデューサーなど組織整備がされている点が評価できる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 先進地域をモデルとしながら、常に事業チェックと自己評価をして事業を進める体制ができている点が評価できる。 ■ これまでの分析と課題に基づくビジョンの設定と、その実現に向けての具体策などが明瞭で、事業内容も具体性があることが評価できる。
<p>評価結果</p>	<p>重点支援地域に認定</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	不可	■ 「クラウドファンディングによる取組数又は金額」について、実施していない。
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人パートナー数が一定程度あるほか、関係団体や地元企業等との連携体制を構築しているなど、組織整備に係る基礎的な取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関係機関との戦略会議や戦略立案に向けたアンケート調査の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光ボランティア育成ガイドブック等の作成などガイド育成事業や大学と連携した地域ゼミの開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産サイン構築事業や、構成文化財である記紀の道における地域住民と協同した風景づくりの取組など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西都原ガイダンスセンターへの入込客数が一定程度あるほか、自転車耐久レースやサイクリングツアーの開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ボランティア養成講座、高校生の課外授業や児童生徒向け現地学習ツアーの実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホームページやSNS等での情報発信、ポスターやリーフレットの作成・配布など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として基礎的な取組が行われており、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を活用して実現したいビジョンをより具体的に記載することが望ましい。 ■ 通過型であることや認知度が低いことなどの課題が把握されているが、これらの課題を今後克服するための方策をより具体的に記載することが望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ クラウドファンディング等を通じて財政基盤のさらなる充実を図ることが望ましい。 ■ 自立自走の実現に向けて、民間事業者との連携強化など、民間活力の活用の方向性について具体化を図ることが望ましい。 ■ 最も重要な役割を担っているのは地域住民であるため、地域を支え好循環を生み出すための計画を記載することが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 古代人のモニュメントという優れた資源とストーリーをどのように継承し活かしていくのかという明確なビジョンや事業を示すことが望ましい。 ■ 2市2町に広がる古墳景観を体感してもらうために、自治体間の連携をどのように行うかをより具体的に示すことが望ましい。 ■ 重点的な取組は何か、それがビジョンの実現につながるかといった点について、より深化させることが望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>